

(様式2)			
学 校 関 係 者 評 価 報 告 書			
(愛媛県立新居浜西高等学校)			
学校番号 (05)			
評 価 実 施 日		令和 7 年 2 月 13日 (木)	
学校関係者評価委員	氏 名	所 属 等	備 考
	伊 藤 優 子	学 校 評 議 員	
	柿 木 仁	学 校 評 議 員	
	伊 藤 信 次	P T A 会 長	
	伊 藤 嘉 秀	元 P T A 会 長	
	白 川 尚 弘	新居浜市立北中学校長	
学校評議員	加 藤 喜 裕	地 域 住 民	
	永 井 誠 司	地 域 住 民	
	三 木 由紀子	地 域 住 民	
(※ 左下欄までは、学校関係者評価委員会が記入) (※ 右下欄は学校が記入)			
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 家庭学習時間は目標をほぼクリアしているようだが、対外模試偏差値が評価Dと、伸びていないのが問題である。学習の効率や効果的な方法を含めて指導する必要があると思う。保護者からの「宿題の出し方を考えてほしい」「意味のない宿題が多い」という意見にもそれが反映されている。 「7読書」は、生徒・保護者・教員とも評価が低く、年間読書冊数の平均が1.5冊は残念である。何とか工夫して読書するようにしてほしい。 新聞を読ませる指導をした方がよい。インターネットだと生徒は自分の興味のある記事だけを見てしまう。 (2) 生徒指導 校則や制服に関して、時代に合わないものは見直すべきとの意見があるが、そうする必要があるのでないか。 毎朝、通学中の生徒たちが気持ちの良い挨拶をしてくれる。また、グラウンドではいろいろな部活動が熱心に朝練習をしており、好印象を受ける。全国大会に出場するなどの成果も素晴らしい。 (3) 進路指導 国公立大学、難関大学にも多くの合格者を出していて、先生方のご指導のたまものであると思う。 医学部に進学するために私立の中高一貫校を選ぶ傾向があるが、西高の理数医療類型についてももっとアピールするべきではないか。 (4) 人権教育 人権教育や健全育成などの、生徒の人間としての教育・育成は素晴らしい結果となっており、先生方の努力のたまものだと思っている。 (5) 業務改善 教職員の働き方改革については、国として進めていく課題だと思うので一国民として政府に要望していきたい。教員採用試験の受験者が減っているが、優秀な人材を今後も確保できるよう、先生方の就業環境を改善しなければならない。		・個別最適な学びを実現するために、生徒自身が、各自のレベルに合わせて課題を克服するためのオンラインでの学習サプリの導入を検討している。 ・読書冊数調査の方法を検討する必要がある。昨年度までは、探究の時間に読書をさせていた。来年度から年間を通しての読書指導の在り方を検討したい。 ・R6、R7と県のNIE実践指定校に指定され、新聞を取り入れた授業、HR、探究活動に取り組んでいる。 ・校則や制服に関する意見については、随時関係課等で検討している。今後も校則検討委員会などで考えていきたい。 ・通学中のマナーについては、今後も根気強く指導を続けたい。部活動は、限られた時間の中で生徒が主体的に活動できるよう支えていく。 ・生徒が最後まで諦めずに受験に臨む雰囲気作りが大切なので、今後も一人一人の可能性を追求する進路指導を行いたい。 ・医療系の職場体験の充実など、中学生や保護者に向けて、本校の類型の特色をさらにアピールしていきたい。 ・人権教育においては、本校で取り組んでいるフィールドワークを取り入れたテーマ別学習などを続け、生徒の人権意識と行動力をより高めたい。 ・部活動や進路指導などで在校時間がどうしても長くなる教員もいるが、ICTの活用などによる業務改善を進め、ワークライフバランスを実現できる働きがいのある職場を目指す。	

(6) 自己評価表、学校評価アンケート 先生方の学校評価と保護者の評価や意見にギャップがあるのは、学校への期待が大きいのか実情が分からないかのどちらかだと思う。アンケートの回答欄に「分からない」を加えてほしいという保護者の意見もあるようだが、その通りだと思う。 自己評価表では、多様な項目で高い目標を立てているので、全ての項目で評価がAになることはないのではないか。目標をもう少し低くしても良いのではないかな。 アンケートの保護者の意見が厳しいのは、家で子どもから聞くのは不満や愚痴が多くなりがちなので、ネガティブなイメージがあるせいではないかな。 2 重点目標について 「10国際理解教育」の評価が低い。英語の学力に問題があるのではないかな。また、外国人によるスピーチコンテストを聞きに行くなどして国際感覚を高めてはどうか。 3 説明・公表について 「22ホームページ」の評価が低い、小・中学校では毎日更新しているのでその印象が強いのではないかな。高校は学校行事の時に更新すればいいと思う。 ホームページの更新頻度は現状程度でいいと思う。ただ、写真とタイトルだけでなく、内容の説明をもう少し詳しくすればよく分かるのではないかな。 3 学校運営への提言 架空の東京都立の進学校を舞台にした漫画「スキップとローファー」が何となく新居浜西高を彷彿させる内容となっており、現在の「魅力ある進学校」とはどういうものか考える上で参考になるかもしれない。 昨年9月初旬に運動会を見学したが、大変暑かった。開催時期を検討してはどうか。 以前は、地域の行事等に参加して新聞に取り上げられる西高生は少なかったが、最近は校外で活躍している生徒が増えているようでうれしく思う。 「入学してよかった」という意見が多いのは、先生方の指導が真摯であるためだと思う。先生方も「新居浜西高校に勤めてよかった」が100%となっており、誇りを持って勤務していることがうかがえる。西高は昔から地域の中学生の憧れの存在だと思うので、今後も生徒をしっかり育ててほしい。	・令和7年度の学校評価アンケートでは、回答欄に「分からない」を加える。 ・Aになった項目については、新たな目標を設定するなどして基準を見直すことになっている。来年度の目標設定の際に検討したい。 ・日頃から保護者連絡や情報発信を丁寧に行い、学校の教育活動に理解が得られるように努力したい。 ・国際理解教育は本校の課題である。他教科と比べて英語が特に弱いことはないが、今後も国際理解教育を推進する工夫をしたい。例えば修学旅行のコースに海外研修を含めるなども検討したい。 ・今年度平均して週3回の更新を行った。これからも様々な学校行事、地方紙の記事等、機会を捉えて、保護者や地域へ情報発信を行いたい。 ・今後は、内容の説明をもう少し詳しくしていきたい。 ・スクールポリシーに示した育成すべき資質・能力やそのために行う活動を全教職員で再確認し、「魅力ある進学校」を目指して共通意識を持って指導に当たれるようにする。 ・2学期の最初に開催するために夏休み中に準備をする伝統があるが、生徒の健康や安全に配慮した実施ができるよう検討したい。 ・課題研究などを通して、生徒が地域に目を向け、地域から学ぶ機会をできるだけ作るようにしている。今後も校外で活躍する生徒を後押ししたい。 ・「入学してよかった」と答えていない生徒がいることにも目を向け、今後も一人一人の個性を尊重しながら、真の力を身に付けさせる指導に取り組んでいく。
---	---